

# 第1学年 道徳学習指導案

日時 平成17年10月13日(木) 5校時

児童 男8名 女7名 計15名

授業者 千田 朋子

1, 主題名 友達を思う心(2-(3)友情、信頼、助け合い)

2, 資料名 二つのことり(出典 「久保 喬 作 愛の学校」より)

3, 主題設定の理由

(1) 価値について

本主題における指導項目2-(3)は、「友達と仲よくし、助け合う。」と示されている。これは、互いを認め合い、様々な場面での学習活動を通して助け合い、理解し合い信頼感や友情を育てることによりよい友達関係を築かせたいという内容項目である。

今日的な社会問題とされている少子化の時代に育っている子どもたちは家族をはじめ、ごく身近な大人達に大事にされ生活し、たくさんの人と関わりながら生活することも少なくなっている。そのため、日常生活の中でも困難な場面に置かれることが少ないことや、常に身近な大人によって守られた状態で生活していることが考えられる。このことは、一概に悪いことばかりではないが、周りのことを考えたり、気遣ったりしなくても快適に暮らしていける状況を生み出していることも事実であると考え。そのような子ども達から、心が通じ合ったり確かな友情が生まれたりすることも困難であろう。相手を信頼し、友情を育てていくことは、人間として生きていくことの基本である。そこで、さまざまな行事を通して友達との関わりが深まる2学期に、友達と関わる楽しさや友達のよさに気づきながら、楽しく学校生活を送るためには友達の存在が大切であることに気づかせたい。そして、友だちと楽しく過ごすためには、相手の立場に立って物事を考えること、自分がしてほしいと思うことを相手にしてあげることも大切であることに気づかせ、友だちに思いやりを持って優しく接することのできる子どもに育てていきたい。

本時は、総合単元の「ふかめる」段階の「道徳の時間」として、「であう」段階の「道徳の時間」でつかんだ「認め合い・思いやり」という心情を土台に、総合単元で組んだ活動と関わらせながら、子どもたちに友だち同士がお互いにお互いを理解し合い、仲良く助け合っているという心情を育ませたいと考え本主題を設定した。

(2) 児童の実態

15名の学級児童のうち14名が同じ保育所で生活を共にしてきたため、お互いを良く知り合っており、気心が知れた友だちといった感じの仲の良い様子が見られる。また、市内幼稚園から1人入学した児童もあまり時間をかけることなくそれぞれの友だちと仲良しになれた。全体的には、男女の隔たりもなく仲の良い学級である。しかし、毎日の生活の中では、お互いの気持ちや立場を考えてあげられないために起こるけんかやトラブルが多いという実態もある。

1学期の学校行事「学年対抗リレー」や体育の「ゲーム遊び」では、友だちが上手くできなかったことや足が遅いこと等を満足のいかない結果の原因としてお互いを非難し合う場面が見られたり、帰りの会で行っている友だちの良いところを紹介し合う「今日のはなまるさん」では、自分が頑張ったことや良い行いをしたことは積極的に発表できても友だちの頑張りの良い行いには、なかなか目がいけない児童が多い。

また、2学期の始業と同時期に行ったオリエンテーション「ともだち いっぱい」では、友だちともっと仲良くできるようにするにはどのようなことが大切か、どのように友だちと関わっていったらいいかをみんな考えていくことを伝え、課題をもたせると共に児童の「友だち」に関する意識調査も行った。その結果、どの子も自分には仲の良い友だちがいて友情関係には満足しているという意識を持っている結果を見た。しかし、担任から「毎日けんかが多いのはどうしてだろう。」という問いかけに「わからない。」「ふしぎだね。」という反応を示し、「もっと、仲良くなれたら 楽しいだろうなあ。」という意識の変容が見られた。

そこで、このような子どもたちに総合単元的な道徳学習を通して、お互いを理解し合い相手

の気持ちを思いやりを持って考えることによって心が通じ合い、もっと、仲良くなれること、そして、生活がもっと楽しくなることに気づかせながら、友だちと仲良くし、助け合おうとする態度を育てていきたいと考える。

### (3) 資料について

みそさざいは、山奥にすんでいるやまがらからは誕生会に、梅の林のきれいな明るいところに住んでいるうぐいすからは音楽会の練習に、同時に招待され迷う。けれども、ほかの小鳥たちと同様、うぐいすの家に行ってしまうのである。しかし、みそさざいは、だんだん一人ぼっちでいるやまがらのことが気がかりになり、いたたまれなくなって、やまがらの誕生会にかけつける。一羽でしょんぼりしていたやまがらは、みそさざいがきてくれたことに大変喜び、みそさざいも「来て良かった。」と思う内容である。

友だちの気持ちを深く考えずに行動するみそさざいの姿は、学級の子も達の日常にもよく見られる様子であり、十分に共感できる場面である。また、友達のやまがらの状況を気遣い、一羽でも途中で抜け出し、駆けつけずにはいられなくなるという心の内や、優しくされて心から喜ぶやまがらの心の内を考えさせることで、友情の素晴らしさに気づいたり、考えたりすることで、児童自身もそのような友情関係をつくりたいという実践意欲をもつことができる適切な資料である。

### (4) 指導にあたって

#### ①単元について

本単元「であう」段階では、2学期の始業を迎え友達との久しぶりの再会をした時期に友達に会えた嬉しさを感じ取らせたい。また、2学期の生活のめあてを考えると、学級目標の一つである「ともだちと なかよくする子」について触れながら「ともだち いっぱい」のオリエンテーションを行い、友達と、仲良くしたい、もっと仲良くなりたい、そして楽しく学校生活を送りたいという意識を持たせたい。その中で、2学期間を通して、みんなで一緒に友達について考えていくことを知らせ、課題や関心を持たせたい。また、さまざまな活動を通して友達の良さに目を向けさせ、お互いの理解を深めさせるようにしていきたい。

「ふかめる」の段階においては、「学年対抗リレー」の練習の取り組みを通して互いに励まし合ったり、できないところを教え合う活動を通して友達と活動することの楽しさに触れさせる。道徳の学習「はしのうえの おおかみ」では、相手を気遣う優しい行いや、優しくしてもらった時の嬉しい気持ちを考えることで価値に触れさせたい。また、学級活動「おとこのこ おんなのこ」体育「ボールけりあそび」の学習を通して、一人一人が大事な体であるということや個人差があるという理解をさせることにより、お互いを思いやって助け合って活動していこうとする気持ちを育てたい。

「ひろげる」の段階においては、「学習発表会」の取り組みを通して、みんなで協力して活動することの大切さや楽しさを感じ取らせながら、友だちの良さについて感得させ今後の生活に生かそうとする態度を育てていきたい。

#### ②本時について

「つかむ」段階では、総合単元的な道徳学習での学習や活動を振り返らせ「ともだち いっぱい もっと、なかよくなるう」での気づきを想起させ、友だちのためにしてあげたこと、という経験から本資料へ導入していきたい。

「とらえる」段階では、場面設定をきちんととらえられるようにパネルシアターを活用したい。

「ふかめる」段階では、みそさざいの言動や心の推移を中心に追いながら、みそさざいの心の葛藤に共感させ、友だちを思う気持ちを深く考えさせてねらいに迫りたい。また、みそさざいやまがらを役割演技させることにより、登場人物の心情に寄り添って考えられるようにしたい。

「まとめる」段階では、「これから友だちにどんなことをしてあげたいか。それは、どうしてか。」を考えることで一人一人の生活に立ち返らせて今後の意欲を引き出したい。また、総合単元の掲示を振り返りながら学校生活の中で自己を振り返る場も設け実践へとつなげていきたいと考える。

「あたためる」段階では、友だちに関する歌をみんなで歌い、「友だちっていいな」という気持ちを持たせ、意欲付けとしたい。

4 , 総合単元的な道徳学習の構想

単元名 ともだち いっぱい ———— もっと なかよくなるう ————  
ねらい 友達と仲良くし、助け合おうとする態度を育てる。

段階	時期	児童の意識の流れ	学級活動・体験的活動	各教科	日常指導・その他
で あ う	8月 3週	<ul style="list-style-type: none"> <li>・久しぶりに友達に会えてうれしい。</li> <li>・友達と仲良くして、楽しい2学期にしたいな。</li> <li>・今日は、 さんは、やさしかったな、頑張ったな、えらかったな・・・</li> </ul>	<b>学校行事・学級活動</b> 「始業式」 2学期も楽しく学校生活を送りたいという意識を持つ。 「今日から2学期」(オリエンテーション) 学級目標の確認をし仲良く楽しいクラスにしたいという意識を持つ。		<b>帰りの会</b> 「今日のはなまるさん」 友達の良いところや努力したところを見つけ紹介し合う。
	4週	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ さんは、 が得意なんだな。</li> <li>・泳げるようになったね。</li> <li>・頑張ったね。</li> </ul>	<b>学校行事</b> 「校内水泳大会」 友達ができるようになったことを賞賛したり、頑張りを励ましたりする。	<b>図工</b> 「夏休み作品発表会」 友達の頑張りや得意な力を見つけたり、認め合ったりする。	
	9月 2週	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達が困っていたら、助けてあげよう。</li> <li>・友だちって、いいな。</li> </ul>	<b>道徳の時間</b> 主題名 こまっているともだち 2-(2)友情、信頼、助け合い 資料名 くりのみ (出典 学研) ねらい 友達と仲良くし、助け合う気持ちを育てる。		
ふ か め る	3週	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できないところは、教え合って練習しよう。</li> <li>・みんなにほめられて嬉しい、また、頑張ろう。</li> </ul>	<b>学校行事</b> 「学年対抗リレー」の取り組み 励まし合い助け合って、優勝目指して取り組もうとする意識を持つ。	<b>国語「くじらぐも」</b> 学級の友達と集団で喜びを共感する楽しさを味わう。	<b>心のノート</b> P40~41 友だちの良さを感じ取る。
	4週	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優しくしてもらえると嬉しい</li> <li>・私も、友達に優しくしてあげたい。</li> <li>・友だちって、いいな。</li> </ul>	<b>道徳の時間</b> 主題名 親切な心で 2-(2)思いやり、親切 資料名 はしのうえのおおかみ (出典 東京書籍) ねらい 身近な人たちに温かい心で接し、親切にしようとする心情を育てる。		
	5週	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんな大事な体なんだ。</li> <li>・勝てるように作戦を考えよう。</li> <li>・お互いに頑張ろう。</li> </ul>	<b>学級活動 (性指導)</b> 「おとこのこ おんなのこ」 男女の体の違いを知り、お互い思いやりをもって生活していこうとする実践意欲を持つ。	<b>体育</b> 「ボールけりあそび」 チームで練習をする活動を通して協力しあう気持ちを持つ。	
	10月 2週	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達って、いいな。</li> <li>・もっと、仲良くしたい。</li> <li>・友達の気持ちを考えて優しくしてあげたい。</li> </ul>	<b>道徳の時間</b> 主題名 友達を思う心 2-(3)友情、信頼、助け合い 資料名 二わのことり (出典 久保 喬作 愛の学校より) ねらい 友達と仲良く 助け合っていこうとする心情を育てる。		
ひろ げ る	3週	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなで、力を合わせて劇を成功させたい。</li> <li>・みんなで成功させて嬉しい</li> </ul>	<b>学校行事</b> 「気仙小フェスティバル」 劇の取り組みで、みんなで助け合って成功させようとする取り組み。友達と、大きな行事を成し遂げた達成感を味わう。		
	11月 2週	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからも、助け合って仲良く生活していきたい。</li> </ul>			

友だちと なかよく 助け合おうとする子ども

5, 本時の指導

(1) ねらい

友だちの身になって、相手を気遣い友達と仲よくしていこうとする心情を養う。

(2) 展開

段階	学習活動・教師の働きかけ	予想される児童の反応	支援と指導上の留意点
つ か む 3 分	1, 今日の学習の課題を伝える。 「ともだち いっぱいーもっ と なかよくなるう 」につ いてみんなで考えましょう。 2, 友だちについて考える。 ○友だちにしてあげたことにつ いて思い出しましょう。	・困っているとき助けてあげた。 ・分からないことがあるとき、教え てあげた。	・総合単元での学習や気づき を振り返る。  ・友だちを思って何かしてあ げたことを思いだし資料 への導入を図りたい。
と ら え る  5 分	3, 「二わの ことり」を読んで、 資料の状況をとらえる。		・パネルシアターで資料をと らえる。
ふ か め          29 分	4, みそさざいの気持ちを中心に話 し合う。 ○みそさざいは、どうしてどちらに 行こうか迷ったのでしょうか。  ○みそさざいは、うぐいすの家でど んなことを考えていたのでしょ う。  ○うれしそうにしているやまがら を見て、みそさざいはどんなこと を思ったでしょう。	・やまがらの家は遠くてさびしい。 ・うぐいすの家で音楽会の練習があ る。 ・うぐいすの家の方が明るくてきれ い。 ・他の鳥たちがみんな行ったから、 わたしも行きたい。 ・やまがらの誕生会のことも気にか かるけど明るい家の方がいいな。  ・みんなこっちに来てしまったけれ どやまがらは、どうしているだろ う。 ・せっかくの誕生日なのにひとりぼ っちでかわいそうだな。 ・誕生日の招待状をもらったのに行 かないで、悪いことをしてしまった な。 Y: よく来てくれましたね。 M: 当たり前だよ、友だちなもの。 Y: とってもうれしいよ。これから も仲良くしてね。 M: 遅れてごめんね。二人でお誕生 会をしよう。 M: やっぱり来てよかった。	・友だちの気持ちを考えず行 動する鳥たちの気持ちや 迷いながらも他の鳥たち と同じように明るい方、自 分にとって都合のよい方 を選んだみそさざいの気 持ちに共感させたい。  ・誕生日とは、どんな日なの かを考えさせながらみそ さざいの気持ちを理解さ せるようにしたい。  ・それぞれのお面を用意して 役割演技をさせる。登場人 物になりきってそれぞれ の人物の気持ちを考えさ せたい。 ・喜ぶやまがらを見て、心か ら来て良かったと思うみ そさざいの思いを感じ取 らせたい。

<p>まとめる 5分</p>	<p>4, 自分の体験を振り返って話し合う。 ○これから、お友だちのためにどんなことをしてあげたいですか。それは、どうしてですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困っていたら助けてあげたい。</li> <li>・友だちの気持ちを考えて優しくしてあげたい。</li> <li>・自分がそうしてもらえると嬉しいから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段の生活を見つめさせ、日頃の友だちとの関係を振り返り、相手の身になって考えることの大切さに気づかせるとともに、実践意欲をもたせたい。</li> </ul>
<p>あたためる 3分</p>	<p>6, 友だちに関する歌を歌う。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちに関する歌をみんなで歌い友だちっていいな、という気持ちを持たせ余韻を残して終わりたい。</li> </ul>

6, 板書計画

・よくきてくれたね。  
・うれしい。  
・これから、なかよくしようね。

絵

もうだれもきてくれないのかとおもっていたんです。

絵

絵

たのしくありません。

二つのことり

みそさざい

- ・ごめんね。
- ・さいしょからくればよかった。
- ・きてよかった。
- ・ぼくたち、ともだちだよ。
- ・ひどいことをしてしまった。
- ・かわいそうだな。
- ・さびしいだろうな。
- ・どうしているだろう。

絵

ことりたち  
どちらにいくかな

7, 資料分析

場面

森の小鳥たちは、山奥にすんでいるやまがらからは、梅の林のきれいな明るうすから音楽会の練習に招待されたが、うぐいすの家に行くことにする。

みそさざいは、どちらに行こうか迷ったものの、みんなと一緒にうぐいすの家へ行く。

みそさざいは、誕生日なのに一人ぼっちでいるやまがらのことが気にかかると、うぐいすの家で何をしても楽しめない。そこで、うぐいすの家を途中で抜け出しやまがらの家へ行く。

誰も自分の誕生日に来てくれるはずなのに、やまがらとみそさざいだけがやまがらとみそさざいだけで喜んだ。みそさざいは「来てよかった。」と思った。

主人公の心の動き

- ・やまがらの家は遠くて寂しい所だな。
- ・うぐいすの家は明るくてきれい。
- ・やまがらさんは今日が誕生日なんだよ。
- ・今日は、音楽会の練習もあるな。

- ・どちらに行こうかな。
- ・今日は、やまがらさんの誕生日なんだよな。
- ・みんなは、うぐいすの家へ行くつもりでいる。
- ・みんなと一緒に楽しそう。

- ・誕生日なのに誰も友だちが来なくてやまがらさんは、寂しいだろうな。
- ・何をしてもちっともたのしくないな。
- ・友だちなのに、かわいそうなことをしてしまった。

- ・もっと早く来ればよかった。
- ・ごめんね、最初から来なくて。
- ・喜んでくれてよかった。ぼくもうれしそう。
- ・ぼくたちとよ。これからは仲良くしようね。

把握

やまがらにとっては、今日は大事な誕生日である。やまがら全くと、うぐいすの家へ行くことにしよう。森の小鳥たちの様子。

やまがらのことを気遣いながらも、みんなと行動を共にしよう。みそさざいの心の動き。

みんなと一緒にうぐいすの家へ来てしまっても、やまがらのことが気にかかると、うぐいすの家を途中で抜け出しやまがらの家へ行く。

やっと来てくれた友だちにとっても喜ぶやまがらを見て、「来て良かった。」と嬉しくなるみそさざいの気持ち。

発問

どうして、森の小鳥たちはやまがらの家へ行くのでしょうか。

みそさざいは、どちらに行こうか迷った。どうして、みそさざいは、うぐいすの家を途中で抜け出したのでしょうか。

みそさざいは、うぐいすの家を途中で抜け出した。どうして、みそさざいは、うぐいすの家を途中で抜け出したのでしょうか。

嬉しそうにやまがらを見て、みそさざいは「来て良かった。」と嬉しくなる。どうして、みそさざいは、うぐいすの家を途中で抜け出したのでしょうか。